

# ひおき 市議会だより



平成19年2月  
第7号

発行/日置市議会  
編集/議会広報編集委員会

〒899-2592 鹿児島県日置市伊集院町郡一丁目100番地  
TEL (099) 273-2111 / FAX (099) 273-3063  
<http://www.city.hioki.kagoshima.jp>



写真 はばたけ！元気に駆け出す美山っ子（東市来地域）

## 12月定例会 主な内容

- こんなことが決まりました …… P 2
- 陳情・請願はこうなりました  
／市民の声はどう活かされたか … P 4
- 委員会報告 …… P 5
- 一般質問 …… P 9
- 行政視察報告（先進地に学ぶ!!）… P 19
- 行財政改革調査特別委員会 中間報告… P 21
- 平成17年度決算の認定 …… P 22
- 傍聴したよ！編集後記 …… P 24

# 決まりました

(木) までの21日間にて開催し、議案32件、認定16件、諮問3件、意見書1件を採択しました。

## 新設された条例

消防組織法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理等に関する条例の制定

消防組織法の一部を改正する法律の施行に伴い、関係条例の整理のため制定。

地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理等に関する条例の制定

地方自治法の一部を改正する法律の施行等に伴い、関係条例の整理を図るため制定。【平成19年4月1日から施行。】  
主な内容 助役を副市長に変更。

日置市行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の制定

県と共同開発している電子申請システムを導入し、オンライン化を図るため制定。

主な内容 住民票・税証明・介護保険関係など28種類の申請手続きが電子申請で行える。

詳しくは5ページ(総務企画委員会報告へ)

## 一部改正された条例

日置市乳幼児医療費助成条例

助成方式が自動償還方式となることに伴う改正。【平成19年3月診療分から】

主な内容 初回の手続でその後の市役所窓口での支給申請手続きを軽減するもの。

詳しくは6ページ(環境福祉委員会報告へ)

## 日置市給水条例

市内全域の水道料金格差の是正並びに水道事業に係る費用の増高に伴い健全な経営を図るための料金改正。

主な内容 平成19年6月1日から平成22年5月31日までに段階的に料金改定するもの。

詳しくは7ページ(産業建設委員会報告へ)

## 日置市下水道条例

下水道事業に係る費用の増高に伴い、健全な経営を図るための料金改正。

主な内容 平成19年6月1日から料金改定するもの。  
詳しくは7ページ(産業建設委員会報告へ)

## 日置市行政手続条例

行政手続法の一部改正に伴い改正するもの。

日置市消防賞じゅつ金及び殉職者特別賞じゅつ金条例

消防表彰規程の一部が改正されたことに伴い改正するもの。

## その他の議案

人権擁護委員の候補者の推薦につき議会の意見を求めることについて

平成19年3月31日をもって任期満了となるため引き続き後任委員の候補者を推薦。

麦野 賦 【伊集院町下谷口】

佐土原伸也 【吹上町永吉】

上床 耕造 【吹上町和田】

西薩火葬場組合を解散するための協議について

平成19年4月1日から西薩火葬場組合をいちき串木野市・日置市衛生処理組合に統廃合するため。

西薩火葬場組合の解散に伴う財産処分に関する協議について

西薩火葬場組合が解散することに伴い、西薩火葬場組合の財産処分をするため。

いちき串木野市・日置市衛生処理組合の共同処理する事務の変更及び規約の変更に関する協議について

平成19年4月1日から西薩火葬場組合をいちき串木野市・日置市衛生処理組合に統廃合することに伴い、共同処理する事務を変更し、規約を変更するため。

鹿児島県後期高齢者医療広域連合の設立について

都道府県単位ですべての市町村が加入する運営主体の創設により、財政運営の責任の明確化を図るために、県内全市町村が加入する広域連合の設立のため。

詳しくは6ページ(環境福祉委員会報告へ)

紙屋敷公営住宅C棟(1工区) 建築工事

請負契約の締結について

工事名 紙屋敷公営住宅C棟(1工区)

建築工事

工事場所 東市来町長里

工期 360日間

請負金額 1億6159万円

請負業者 株式会社 イシタケ

# こんなことが



埋立によって新たに生じた土地（江口浜海浜公園）

△は減額補正

一般会計予算の補正	
補正額	3億7,926万3千円減額 総額244億9,695万7千円
(主な補正内容)	
・情報管理費	△ 2億7,226万円
・賦課徴収費	2,743万1千円
・社会福祉総務費	△ 7,772万6千円
・児童措置費	7,527万1千円
・老人保健費	6,016万6千円
・塵芥処理費	△ 4,648万2千円
・し尿処理費	5,178万8千円
・農地費	△ 3,495万3千円
・学校建設費	△ 1,769万2千円
・体育施設費	△ 8,588万5千円

## 12月定例会

12月定例会を12月1日（金）から21日（木）まで

**市道の路線の認定、変更及び廃止について**  
旧町間を接続する市道の一本化並びに国、県からの移管及び開発業者から寄附採納のため。認定14路線・変更3路線・廃止18路線。  
詳しくは7ページ（産業建設委員会報告へ）

**あらたに生じた土地の確認について**  
江口漁港区域内公有水面埋立てに関する工事にて新たに生じた土地として確認するため。  
【県埋立地】 9662・91m<sup>2</sup>  
【国有海浜地】 4055・97m<sup>2</sup>

**字の区域の変更について**  
江口漁港区域内公有水面埋立てに関する工事にて新たに生じた土地について字

**区域の変更をするため。**  
【変更前】 東市来町伊作田字岡及び小松平の一部  
【変更後】 東市来町伊作田字富川ノ下

**字の区域の変更について**  
土地改良事業県営農地環境整備工事（吹上町入来地区）の工事完了に伴い、字の区域変更のため。

**公有財産の取得について**  
地域インターネット基盤施設整備事業において、市内97カ所の公共施設に送信装置を配置するため、物品売買仮契約をした。  
取得物件 地域インターネット基盤施設整備事業送受信装置（パ

特別会計予算の補正		
会計名	補正額	補正後予算
国民健康保険	3億7,717万6千円	61億4,949万3千円
老人保健医療	6,054万6千円	88億742万5千円
公共下水道事業	1,020万円	5億5,752万4千円
農業集落排水事業	63万円	4,526万1千円
国民保養センター及び老人休養ホーム事業	△ 1,652万9千円	7,115万1千円
飲料水供給施設	△ 20万1千円	48万1千円
介護保険	△ 2,657万円	43億5,486万1千円
市立国民健康保険病院事業	834万3千円	3億7,041万6千円
水道事業	531万4千円	7億6,913万5千円

取得価格  
契約の相手  
ソコン・キョースク端末など）  
6千795万円  
三菱電機インフォメーションテクノロジー株式会社九州支社



## 陳情・請願はこうなりました！

12月定例会で審議された皆さまからの請願・陳情等は次のとおりです。

請 願					
件 名	提 出 者	付託先	紹介議員	結 果	〈意見書提出先〉
公共工事における建設労働者の適正な労働条件の確保に関する意見書提出を求める件	鹿児島県建設技能者組合 執行委員長 皆元 鐵夫他1名	産業建設 常任委員会	坂口 洋之	採択 (意見書)	内閣総理大臣 他 関係大臣

陳 情			
件 名	提 出 者	付託先	結 果
リハビリテーション打ち切りの実態把握と改善のため政府への意見書提出を求める陳情書	鹿児島県保険医協会 会長 小田代憲一他1名	環境福祉 常任委員会	継続審査

### 議会審議の追跡調査

## 市民の声はどう活かされたか？

議会だよりでは、定例議会での一般質問や、住民の皆さんから出されている請願・陳情などについて、その後市政にどのように反映されているのか追跡調査しています。

#### 質問／ハザードマップの作成は

本市の安心・安全なま  
づくりの中で、災害対策の  
ための土砂災害危険箇所  
を記した「ハザードマッ  
プ」を作成し、配布しない  
のか。  
(平成17年7月・9月、平  
成18年9月定例会質問)

市長の  
答弁は…

#### 17年度中に配布したい

市内の危険箇所は5  
24カ所把握してお  
り、土木事務所の土砂  
災害警戒区域指定の進  
ちよく状況を考慮しな  
がら、17年度中に各自  
治会へ配布をしたい。

その後、  
どうなった…

#### 67自治会に配布済み

平成18年3月～4月  
に210自治会中、67  
自治会に配布した。今  
後、県の調査に基づき  
ハザードマップを作成  
し、配布を行う。

#### 土砂災害危険箇所マップ

大雨の際には、テレビ・ラジオ・市役所からの情報に注意し、早めの避難を心がけましょう。  
日置市役所総務企画部総務課 ☎273-2111  
東市東支所地域振興課 ☎274-2111



土砂災害危険箇所マップ(図)

# 常任委員会

## 報告

### 総務企画常任委員会

日置市行政手続き等における情報通信の技術の利用に関する条例の制定

この事業は鹿児島県を中心に県内市町村と連携して取り組む事業である。住民の申請手続きをインターネットを使って簡素化するもので、住民票の写しの請求等28業務を、平成19年からスタートするもの。

#### 質疑の主なもの

問▼セキュリティ面と認証の関係はどうなるのか。

答▼市のホームページから電子申請の窓口に入って、県のセンターを経由して、市の担当課に下りてくる。住民票とか所得証明の情報は、市のサーバーに持っている。そこには直接アクセスすることはないので、個人情報の問題はない。

#### 一般会計補正予算

歳入歳出それぞれ4億3711万円を減額し、総額を244億3911万円としたもの。

歳入は、普通交付税の確定による追加、歳出は地域イントラネット、伊集院陸上競技場整備の工事入札執行残が主である。

#### 質疑の主なもの

問▼地域イントラネットの基盤整備事業債は、工事金額の2億9678万2千円の起債であるが、充当率は95%か。



地域イントラネットの工事風景

答▼工事費に国庫補助金がつく。残りの単独分に95%充当される。

問▼特別交付税を1億円減額してあるがその理由は。

答▼平成17年度10億円であったが、18年度は当初8億円計上した。合併による特別な需要が、先に合併した団体では2割減になっており、本市も参考にした。

問▼普通交付税は、78億2459万1千円で確定か。

答▼確定である。

問▼消防施設費で購入した自動車の程度は、配置先は。

答▼普通車の積載車で、東市来地域の高山分遣隊に配置した。

問▼県議会選挙ポスター設置場については基準があるのか。

答▼投票区の大きさと人数で、上限が決まっている。吹上地域の場合、上限いっぱい設置している。

問▼過誤納は、対象期間が地方税法で5年間、市では10年間であるが、税法に戻す考えはないか。

答▼吹上は地方税の5年間であったが、3町は10年間であった。合併で調整した市側の課税誤りであるので、納税者の感情を考え10年間となっている。文書保存期間も10年である。

問▼対象者が亡くなっている場合は。

答▼相続人に還付する。

問▼譲渡等他人になっている場合は。

答▼前の分は前の人に、新しい分は新しい人に返す。

問▼今回の調査で、課税漏れはなかったか。

答▼10件ぐらいあった。来年度から課税したい。

問▼イントラネット事業が安くできたという点だが、予定価格、入札率は、いくらであったのか。

答▼設計は、国交省の単価に基づき積算し、4億5300万円が予定価格であった。落札額が消費税込み、2億8265万円、4工区の平均62.3%の落札率で、事業者が努力された結果であると考えられる。

問▼97の公共施設へのケーブルをつなぐ計画であるが、今後、要望等あるところへの延伸について伺う。

答▼今回のイントラネットでは97カ所、130km延長になる。インターネットに

接続できない地域があるので、どのように接続していくか、次のステップとして各家庭まで伸ばしていきたい。

問▼19年度は各家庭まで予定されているのか。

答▼19年度は実施設計を考えている。

問▼吹上浜キャンプ村は、土曜・日曜以外は利用者が少ない。行政改革の中で厳しいものは整理していかねばならないが、このような事業についてどう考えるか。見直しの対象になっていないのか。

答▼平日の利用者が少なくなっている。バンガロー等も古くなっている。整備については国有林で手入れられない場所がある。昼間暗い部分があり、海は遊泳禁止になっている。

問▼常備消防の備品購入費について190万円の残が出たが、緊急車両については足りないところがあったのでは。

答▼消防自動車は1t半の水を積んでいるが、車の大きさ人員の都合があり、それ以上になると大型免許になる。普通免許で運転できるので、ほぼ満足している。ホースは20本カットしたが、間に合っている。徐々に増やしていきたい。

問▼北分遣所出口の電柱が邪魔になっている。移設の進展はないのか。

答▼電柱を取り除くだけでなく、土地も影響してくるので、将来、土地購入を検討するよう要望している。

問▼各基金の運用金利が違うが。

答▼合併前の通帳がたくさんあり、今まとめていくところである。



## 国民保養センター及び老人休養ホーム 事業特別会計補正予算

歳入歳出それぞれ1652万9千円を減額し、総額を7115万1千円としたもの。

指定管理者に9月から移行したので、8月までの精算によるものである。

### 質疑の主なもの

問▼指定管理者に移行したが、特別会計は残すのか。

答▼修繕の問題がある。建物は行政のものであり、建物の修繕工事が今後考えられるので残す。

問▼「(株)イシタケ」による運営状況を伺う。

答▼いろいろと問題点があるなかで、指定管理者の名乗りをあげられ、ホームページの作成、PR、アンケート、洋食の導入、若者に合わせたパッケージ等計画し努力されている。

9月・10月の状況は、黒字となっている。

以前はパートを含めて28人体制だったが、現在は20人である。宴会等忙しいときはフロントから応援に行くなどとして、経営努力をされている。

## 環境福祉常任委員会

### 鹿児島県後期高齢者（75歳以上）医療 広域連合の設立について

急速な高齢化に伴い老人医療費の増大が見込まれる。平成19年3月1日より都道府県単位ですべての市町村が加入する運営主体の創設により、財政負担の明確化を図るものである。

## 日置市乳幼児医療費助成条例の一部改正について

乳幼児医療費助成事業の助成方式が平成19年3月1日以降診療分より、自動償還方式となるものである。

利用者は病院の窓口で保険負担分を支払う際、乳幼児医療助成カード提示により、助成申請がなされるものである。

### 一般会計補正予算

民生費については、障害者自立支援法施行に伴い障害者施設事業費などの減額、日吉老人福祉センターの入浴券売機買い替え、児童手当支給事業の制度改正（児童手当財源の変更、所得制限限度額の引き上げ、支給対象年齢小学3年終了前を小学終了前に拡大）による増額、生活保護総務費増額は医療扶助実績見込みの計上。

衛生費については、老人保健医療特別会計への繰出金、クリーンリサイクルセンターの焼却炉レンガ補修など執行残による減額、し尿処理費の委託料は19年1月より、伊集院・日吉分のし尿の海洋投棄禁止による衛生処理組合の変更に伴う、し尿浄化槽汚泥運搬委託料などである。

### 質疑の主なもの

問▼公立保育所のあり方検討会の内容は。

答▼伊集院北保育所、東市来ゆのもと保育所、永吉保育所の民営化に向け、公設の場合と違い補助金が出ることや民間の持つ柔軟性などを検討するもの。

問▼障害者対策は厳しい状況下であるが、施設への苦情、相談の状況は。

答▼梅の里、太陽の里、吹上学園に相談窓口の委託を行っている。3件判定基準についての苦情があった。

《委員より、施設入所者は5年の猶予はあるが、高齢化のことも考慮し十分な対応を望むとの意見》

問▼指定管理者制度を導入後の老人福祉センター施設の券売機購入の経緯は。

答▼老朽化により頻繁につり銭や券の出が悪くなったとのことである。

《委員より、今後は指定管理施設より要求があったものは、請求という安易な計上とならないように図りたいとの意見》

問▼不法投棄の場所と袋収集の状況は。

答▼上下神殿、土橋など山間部が多い。袋の中の可燃ごみ、不燃ごみの割合は、日吉90・1%と9・9%、東市来86・1%と13・9%、吹上84・8%と15・2%、伊集院78・6%と21・4%の状況であり、今後とも不法投棄や分別について地域説明を行いたい。

《委員より、不法投棄の看板設置を十分に図りたいとの意見》

問▼空予熱器補修の翌年度見送りは。

答▼当初、ビニールやプラごみが9・1%の設計だったが、20%を超える現状であり、設備の傷みが早く運用開始から7年目の改修となった。見積額は1億5千万円程になる。収集の現状は伊集院地域が悪く、ルールを守らない人が多くなっているのも事実であり、地域への説明では現状を伝え理解してもらうように努めたい。

《委員より、クリーンリサイクルセンター施設の延命化や維持管理・補修の現状をシリーズで広報掲載し、周知の徹底

を図りたい。また、高齢者にも分かりやすい分別の方法の冊子や保存版用のパンフレットの配布を検討し、市民の意識の高揚を図るべきである。分別収集推進の一方策として、地域への報奨金等の検討も必要であり、9月議会での所管事務調査の報告を含め検討されたいとの意見》

### 国民健康保険特別会計補正予算

平成18年10月から高額医療費共同事業と合わせて、レセプト1件当たり30万を超え80万までの医療費の負担調整を行う、保険財政共同安定化事業が創設された。歳出ではその拠出金、歳入では交付金の補正である。過誤納返戻金、加算金は東市来25件、64万6250円。日吉30件、70万4700円。吹上150件、387万7500円。合計205件、522万8450円である。



クリーンリサイクルセンター

### 質疑の主なもの

問▼保険税滞納繰越の当初の徴収目標額はどうだったのか。

答▼目標額の設定はしてないが、平年並みの額が上っている。19年度予算査定において目標額の設定を協議したい。徴収実績にも努力し差し押さえ等も取り組み、財源確保に努めたい。

《委員会として、税改正が進められる中、納税の公平性の保持はもちろんであるが、全庁舎一丸となり、市民が納得いく信頼できる徴収体制を図りたいとの意見》

### 老人保健医療特別会計補正予算

歳入歳出それぞれ6054万6千円を追加し、過年度分の支払い基金交付金精算返納を繰入金で充当するものである。

### 特別養護老人ホーム事業特別会計補正予算

施設内の車椅子や厨房備品等の修繕および共済費を委託料執行残との組み替えによる見込み計上である。

### 介護保険特別会計補正予算

歳出では包括支援センターシステム整備のための電気工事請負費や軽自動車2台の購入費、居宅介護サービス給付費は減額、施設介護サービス給付費・高額介護サービス費は実績見込みによる増額。

### 質疑の主なもの

問▼来年4月より包括支援センターが開設されるが、体制づくりの現況はどうか。  
答▼現在支援係に事務1人、保健師3人がいる状況であるが、開設に当たっては

在宅介護支援センターからケアマネージャー1人と、一般公募によりケアマネージャー8人体制で進めている状況である。

《委員より包括支援センターがすでに稼働している先進地においても、ケアマネージャーの確保が間に合わないほどの需要の状況であった。本市においても需要の増大は予想され、人材確保は最重要課題である。住民サービスが劣らないよう努められ、保健・福祉・介護保健課との連携した取り組み及び環境整備を図りたいとの意見》

### 国民健康保険病院事業会計補正予算

病院事業調査委託料は市民病院の医療機能の再編について、専門業者に調査を委託し市民病院の今後のあり方をコミュニケーションし、調査結果を検討するものである。

### 質疑の主なもの

問▼4回開催の病院のあり方検討委員会での今後についての意見はどうか。

答▼経営形態を一部適用から全部適用とするとなった。また、市場調査等を踏まえたコミュニケーションを行い、長期展望での病棟の再編、改築等について調査委託をする事とした。

問▼一部適用と全部適用の違いは。

答▼一部適用とは、財務規定など公営企業法の一部を適用するもので事業管理者は市長である。全部適用とは、病院事業の経営責任者として事業管理者を設置し組織・職員の任命・勤務時間その他の勤務条件に関する権限など、地方公営企業法を全部適用することで病院事業運営の

権限と責任の明確化を図るものである。

問▼あり方検討委員会で答申のあった調査委託に何を期待するのか。

答▼診療報酬の改定で4月以降の収入が大きく減った。療養病床50床を将来どう再編し運営していく事が望ましいか、経営を見るためにも必要だと思う。

《委員より、単年度赤字が2千〜3千万円と言う事で大変厳しい運営状況であるが、地域には病院がなく、住民にとっては無くてはならない施設であり、病院の継続を望むとの意見》

## 産業建設常任委員会

市道の路線の認定、変更及び廃止について

旧町間を接続する市道の一本化と、国県から移管される道路、また開発業者から寄附採納のあった14路線を市道として認定し、3路線を変更し、これに関連する18路線を廃止するものである。

### 日置市給水条例の一部改正について

この改正は、各地域の水道料金の格差是正と、日置市水道事業に係る費用の増加に伴い、水道事業の健全な経営を図るための改正である。内容は口径別の基本料金の設定と、従量料金の値上げであり、19年度より22年度まで4年間で段階的に値上げをして、平均で14%の値上げである。

### 日置市下水道条例の一部改正について

日置市の下水道事業に係る費用の増加に伴い、下水道事業の健全な経営を図る

ための改正である。10t未満の従量料金の区分が加えられ、また各汚水量区分でトン当たり20〜30円の値上げで、平均23.7%の値上率である。

### 一般会計補正予算

主なものは、活動火山防災対策事業の事業費決定による減額補正。日吉地域の県営かんがい排水事業で神之川の揚水施設、ファームポンド、取り付け道路の予算が減額となった。

農地農業用施設災害復旧費の確定した補助災害は農地71件、確定率89.8%。農業用施設66件、確定率86%である。

土木建設では、道路新設改良費の委託料、工事請負費、公有財産購入費などの執行残および事業費の組み替えが主なものである。

### 質疑の主なもの

問▼農業者年金の受給者と年金を掛けて



現在工事中の県営かんがい排水事業（日吉地域）



いる人は何人か。

答▼日置市全体で経営移譲老齢年金の受給者が282人、老齢年金の受給者が247人で合計529人。年金を掛けている人は40人である。

問▼県営かんがい排水事業費が減額しているか。

答▼平成18年度は貯水槽、用水施設、排水管、管理道路などを含めて約3億円であるが、事業費変更により市の負担金も減額である。

問▼吹上漁協の12ℓ給油タンクの改修補助の100万円(補助率50%)は高いか。

答▼油漏れタンクの取り替えて、撤去費取り替え工事、タンク代、諸経費を含めて総額約203万円となっている。

問▼無人ヘリの農協負担分はいくらか。

答▼無人ヘリの負担割合は県が15分の5助成、残りを市が15分の4で、農協が15分の6となっている。

問▼公園費のまちづくり交付金事業の伊集院総合運動公園の事業変更の内容は。

答▼総合運動公園内の外周に幅2mのジョギングコースと、ドーム入口の道路改良、公園の中央に児童公園も計画している。

### 公共下水道事業特別会計補正予算

工事請負費で中園団地内、徳重区画整理内の汚水管きよ築造工事等で1020万円を増額補正するもの。

### 集落排水事業特別会計補正予算

修繕料で永吉処理場プロワイ修繕等に63万円の増額補正するもの。

### 質疑の主なもの

問▼処理場が6年目であるが、今後の改修はあるのか。

答▼18年度は水位計と塩素室の改修も行ったが、今後は表面水をとる装置を交換する計画である。

### 飲料水供給施設特別会計補正予算

水質検査手数料の執行残で20万1千円の減額補正である。

### 水道事業会計補正予算

収入では給水収益の増が主なもので、支出では委託料の水道料金改正に伴う電算システム改修委託料等により、531万4千円を増額補正である。

## 教育文化常任委員会

### 一般会計補正予算

主なものは、湯田小学校校舎増築工事執行残の減額2592万7千円、伊集院総合運動公園陸上競技場走路等整備工事執行残の減額8011万6千円などである。

### 質疑の主なもの

問▼妙円寺詣り行事大会運営費の予算はいくらで、いくら使ったのか。

答▼予算は441万8千円。支出は380万5千円、残り61万3千円。

問▼東市来B&G海洋センターの燃料費が増えている理由は何か。

答▼温水プールの追いたき用の灯油代が1ℓ63円から81・9円に上がった。

問▼落雷による総合運動公園照明設備修繕の補正の内容は。

答▼外野に落雷してコンピューターが壊れ、事務所からの遠隔操作ができなくなった。

問▼伊集院運動公園ドーム使用料はいくらか。

答▼ドームだけの算出はしない。ドームは2カ月で3453人。全体の18年度の見込み人数は12万315人である。

問▼今年の妙円寺詣り行事の総括は。反省点・改善点はどうか。

答▼事故無く開催できた。すべて市民スポーツ課で対応しているが、プロジェクトチームを作るべきでは。改善点は多々ある。

問▼電気・水道・ガス代不足による補正があるが、見込みが甘いのでは。

答▼昨年は11カ月分で積算し、当初予算は前年度の10%減で計上したため少なかった。

問▼伊集院総合運動公園陸上競技場走路等整備工事執行残8011万6千円あるが、見積りが甘かったのでは。

答▼競争入札の原理が働き安くなり、50%の執行率となった。設計内容に変更はなく、工事は適正に執行された。

問▼一般職時間外勤務手当の実態はどうか。

答▼行事関係の前後が多く、給料の一律3%の枠では足りず、特別枠の予算申請となる。代休制度はあまり消化できていない。

問▼職員の有給休暇の実態は。年間20日間とれないのか。消化率はどうか。

答▼25%位。繰越分も含めて年合計40日間あるが、代休でとるケースが多い。休みが必要な時だけとれている。

問▼エレベーターの維持管理費は高いが、市内の公共施設のエレベーター数は。

答▼伊集院2、東市来4、吹上2。

問▼市内の条例公民館の数はいくらか。

答▼伊集院9、東市来2、吹上9。

問▼複式学級を有する小学校への教師志望学生の派遣に伴う謝金について説明を。

答▼3学期に2校のみを対象にし、効果があれば来年度から本格的に実施する。謝金は交通費程度である。

問▼ALTは4人必要か。交付税措置されるのか。家賃や任期はどうか。

答▼交付税措置されている。4人で足りなくなる可能性もある。家賃は独身者で月2万3千円。日吉は3年目。他3地域は今年で1年毎の更新である。



妙円寺詣り行事大会(剣道)



# 一般質問

## これから どうする！ 『日置市』

12月定例会では19名の議員が登壇し、  
日置市の未来を見据え質問を行いました。

より良い市政を目指して



田丸 武人  
議員

**質問1** 単独浄化槽から合併浄化槽への切替え促進について

昨年、生活排水が河川へ放流しないよう、単独浄化槽から合併浄化槽への切り替え促進を図って頂くよう質問した。18年度にいろいろやり方があるので、前向きに検討することだったが、結果は。

**答弁1** 19年度から切替えに10万円程度上乗せし普及を図る (市長)

小型合併浄化槽を市が設置し、個人から毎月使用料を徴収するところもあるが、厳しい状況の中では今後の課題である。

本市ではまず平成19年度から、単独浄化槽を合併浄化槽に切り替えていく所に、現在の補助に10万円程度上乗せし、小型合併浄化槽の普及を図っていく。

**質問2** 市道の維持管理について

市道の維持管理は、夏草の茂る時期に集落自治会が愛護作業として実施する箇所や、管理公社・シルバー人材センター作業班等に委託して管理がなされている。

① 本年度に各自治会が実施したキロ数、報奨金の額は各町別にいくらになるか。

② 業者・管理公社・シルバー人材センター作業班等に委託したキロ数、金額は各町別にいくらか。

③ 東市来地域は昨年まで2回分の報奨

金を受けていたが、18年度は1回分とのこと。2回に検討できないか。厳しいければ、せめて2回目は半額でも検討できないか。

**答弁2** 地域との協働で守ってほしい (市長)

① 東市来49集落、168km、192万円。伊集院67集落、163km、197万4千円。日吉50km、57万7千円。吹上69集落、164km、198万9千円。合計547km。各集落へ均等割5500円、1m当たり10円を支払い、合計647万円となった。

② 草払いだけでなく道路の補修、せんだ等を委託しており、合計4177万円である。

③ 市内では2回分支払っていた所、1回分支払っていた所、支払っていなかった所、いろいろあった。

17年度並にはいかないかもれないが、単価等を考慮し、1回分を少しは引き上げたい。地域の愛護作業として協働で地域を守っていただきたい。



市道維持管理作業の様子



花木 千鶴  
議員

**質問1** 男女共同参画庁内推進委員会設置と専従の係を置く考えはないか

本市は、男女共同参画懇話会を設置し、日置市男女共同参画基本計画の作成に取り組んでいる。この計画は、住民・事業所・団体・地域・行政が取り組むべき施策・事業を具体的に示し、本市における男女共同参画施策がより一層全庁的な取り組みとなるよう、推進体制も確立しなければならぬ。庁内の推進委員会設置と専任担当の配置を考えないか。

**答弁1** 策定ワーキンググループを設置。専従は、計画策定後考えたい【市長】

現在、市長を本部長とする推進本部と、策定ワーキンググループを設置した。基本計画策定後、事務量や仕事内容を見きわめて専従は検討したい。

**質問2** 地域コミュニティバスの見直しは

民間バス路線廃止後は地域コミュニティバスで対応することだったが、一年後の結論を待てる状況にない。

民間バス会社との約束は市が赤字補てんとされているが、市の財政計画は立てられない。一方、コミュニティバスは年額契約である。市の財源は有効に使うべきだ。コミュニティバスで対応できる所は早急に見直し、住民ニーズを考慮して利便性の向上をはかるべきではないか。

**答弁2** コミュニティバス路線増も、民間の赤字補てん額と比較して考えたい【市長】

民間バスは運行経費の赤字額を市が補

てんすること存続となった。赤字額がいくらになるのか、来年11月にならないと分らない。不便になったとの声は聞いているが、赤字額が分らないとコミュニティバスの検討もできない。

**質問3** 資源ごみ収集方法の統一に向けてどのような検討がされているか

可燃ごみの中に資源ごみの混入が多く分別が徹底されていないという。住民への指導・説明責任は行政であるが、充分といえるか。今後、ごみ分別検討委員会と考えるというが、現状分析や改善策も提示できていない。運搬費や運営費減の具体策も示されていないと思うが、検討状況はどうか。

**答弁3** ごみ分別検討委員会を設置し、来年9月までに結論を出す【市長】

袋方式の良さもあるが、地球環境を考えるとコンテナ方式導入も考慮すべき時期に来ていると住民説明してきた。今後、住民が受け入れてくれるかどうか、検討委員会を通じて結論を出したい。



早期見直しが待たれるコミュニティバス



坂口ルリ子  
議員

**質問1** いじめや自殺問題。原因、現状は

今、教育現場では、管理統制が強まり競争を強いられ、選別されて大きなストレスをかかえている。こうした中で、いじめが深刻になっている。いじめは人権侵害で、子どもだけの問題でなく、ゆがんだ社会から生じているのでは。

**答弁1** 複雑な要因がからまっている【教育長】

いじめは、どの時代でも大人の社会でも存在する。原因は、学校・家庭・社会それぞれの要因が複雑にからまっておこる。少子化・物中心の社会風潮。子どもの強い精神力、自制心の育ちが不十分。人権意識不足もある。いじめの現状は小学校11件、中学校14件、解決19件。

**質問2** 免許外教科を教えている中学校の実態は

10月29日、曾於市の中学校女性教師が自殺した。原因は、免許外(国語)を押しつけられ指導力不足で悩んでいた。本市ではどうか。



島津義弘公の銅像

**答弁2** 免許外教科を教えているのは6人である【教育長】

日置市内中学校で免許外教科を教えている教師は6人である。小規模校では、複数の教科を持たねば時間の平均化ができない。人事異動で担当教科等を考慮する。再教育研修の該当者はいない。

**質問3** 国民保護法の具体化について

11月12日に県国民保護計画に基づき、十島村口之島で全国初となる島外避難を含む国民保護訓練が実施された。

県の条例が決まり、本市も11月24日、第1回の審議会が開かれたが、その報告を求める。

**答弁3** 計画を市民に広報する予定【市長】

37人の審議員のうち、29人出席。運営要項等を承認し、計画案、今後のスケジュールの説明をした。本年度中に計画を作成し、市民に広報紙で知らせる。次回より傍聴できる。

**質問4** 妙円寺詣りの日程変更について

平成5年から10月第4日曜日に変更され、今年で14回目である。

妙円寺詣りは、旧暦9月14日(月夜)だ。歴史的な行事であるものをスポーツ行事の参加者が都合が良いとの理由で日曜日に変更した。元へ戻せとの声が多いが、どうか。

**答弁4** 日程変更は考えていない【市長】

商工会青年部より署名があり、公民会長会でも検討して変更した。元へ戻すことは考えていない。





中 實弘  
議員

**質問1** 平成19年度予算編成の基本方針を問う

地方交付税等が大幅に減額される状況にあり、昨年にも増して厳しい財政運営を強いられるのは必至である。平成19年度予算編成に当たっての基本的方針を問う。

**答1** 構造改革と意識改革の方向性を明確に **【市長】**

基本的方針については、日置市総合計画にもとづき将来にわたって、弾力的で足腰の強い健全な財政構造を構築する。これまで以上に構造改革と意識改革の方向性を明確にした予算編成をめざしていく。

歳出では費用対効果を念頭に置き、内部努力による経費節減を図る。市単独補助金をはじめとする事務事業の徹底した見直し、投資的経費の見直し・重点化に努める。

**質問2** ただちに市単独補助金の一律大幅カットを断行すべきではないか

補助金等に係る予算執行は、市税その他の貴重な財源で賄われることに特に留意し、交付の目的にしたがって、公正かつ効率的に行われなければならないと思う。

補助金すべてにわたって「本当に市が出すべき金なのかどうか」の原点に返って精査すべきではないのか。

段階的な先送りはやめて、無駄な部分は大だちにカットする決断こそ、いま問われていると思うが、市長の見解は。

**答2** 3カ年計画の中で年次的に見直しを進める **【市長】**

行政改革推進本部の財務会計制度部会が中心になって精査している。特に財政計画説明会において、19年度分については約5%カットすることにした。各種補助金は、日置市全体で平成18年度予算ベースで294事業、総額10億円という数字が出ている。見直しについては、基本的に運営費補助等を19年度に精査したい。一挙にカットを断行しても運営母体に大きな支障をきたす恐れがあるので、3カ年計画の中で年次的にカットしていく。

**質問3** 周辺部の集落民が待ち望んでいる里道、農道等の補修について

月々わずか4万円ほどの年金で生活しているお年寄りが多く住む集落の隅々まで、温かい行政サービスが行き届くところその真の合併効果ではないか。市長はどう思うか。

**答3** 一般財源で、地域からの申請をもとに、現地調査して優先順位を決めている **【市長】**



危ない！補修のメドも立たず放置された生活道路



下 御領昭博  
議員

**質問1** 新事業の「農地・水・環境保全向上対策」の取り組みは

平成19年度より、担い手だけでは難しい集落機能の保全と質的向上を目指した「農地・水・環境保全向上対策」が実施されるが、それに向けた取り組みは。また、市民が参加したいと思わせるような企画等の工夫は。

**答1** 市全体で23地区の農地が対象で、事業実施に向け計画中である **【市長】**

事業の取り組みとして、農業者の高齢化・農地の荒廃化・住宅地の混住化による農地保全対策で自治会・水利組合などの団体を対象に、事業の促進を図っている。対象は、市全体で23地区、782haの農地である。19年度から事業実施に向け、組織活動の具体化、活動計画書の算定を行う。

**質問2** 合併で行財政はどう改善され、どのような効果が出ているのか

合併を推進する背景・理由として、①地方分権の推進、②少子高齢化社会の到来、③国・地方を通じる財政の著しい悪化など市町村行政を取り巻く情勢の変化である。以上のような観点から、合併して1年7ヶ月が過ぎた現在、行財政はどう改善され、どのような効果が出ているのか。

**答2** 報酬で約2億5千万円の減額効果が出ている **【市長】**

合併前の特別職16人が4人に、議員76人が30人になったことから、合併後の報

**質問3** 各自自治体の借金負担が重いと聞

北海道夕張市が破たんした。新聞や報道によると、負債総額は約632億円である。他の自治体も財政状況が厳しく、借金負担が重いと聞が、日置市はどうなのか。今後どのように取り組んでいく考えか。

**答3** 18年度末見込みで、約414億円程度である **【市長】**

日置市の市債残高18年度末の一般会計で、約355億8千万円。特別会計・公営企業関係を合わせて約414億円程度である。合併以前からの継続事業や公営住宅事業、中学校舎建設事業が集中して、市債残高が増加している。19年度以降の市債の借入は、公債費の償還額より少なくしていかなければ市債の残高を抑制できないと考える。



田園風景（東市来・尾木場集落）



東 孝志  
議員

**質問1** 国が進める自治体破たん法の内容はどうなるか

国は自治体破たん法の整備の動きを急ぎ始めているが、正式な名称及びその内容を把握しているか。

**答1** 4つの指標のうち1つでも悪化すれば早期は正団体指定へ【市長】

総務省有識者研究会の最終報告ではチェック指標として赤字比率のほか「営企業会計などにも範囲を広げた新指標」「実質公債比率」「第三セクターなどを含めた連結債務指標の活用」の4つの指標のうち1つでも一定水準より悪化した場合は、早期は正団体に指定して財政健全化計画の策定を義務付ける。2009年度施行の見通しである。

**質問2** 現行の再建法と破たん法の違いは

現行の地方財政再建促進特別措置法と自治体破たん法との違いは。

**答2** 破たん法は企業会計や公社等の負債も含める【市長】

財政再建団体の基準は、普通決算における実質収支赤字の標準財政規模に対する割合となっており、普通会計の負担にかながる企業会計等や外郭団体の負債との関係が薄く、自治体全体の財政状況を正確にとらえたものとなっていない。破たん法は財政破たんに至る前に健全化を促す。

**質問3** 本市は財政破たんの可能性はないか

夕張市が多額の債務を抱え財政破たん

したが、本市は財政破たんの可能性はないか。

**答3** 実質収支額からいけば現在のところ可能性はない【市長】

財政再建団体は、市町村の場合赤字額が標準財政規模の20%を超えた場合に財政再建団体に指定される。17年度決算は、実質収支額が15億292万8千円であり、現在のところ可能性はない。

**質問4** 夕張市の財政破たんは他人事ではない、市長の政治姿勢を伺う

夕張市の財政破たんは他人事ではない。市長は厳しい財政状況の中、一日も早い財政基盤の強化や財政の健全化を図り、市民が安心して暮らせる日置市づくりを進める覚悟か、市長の政治姿勢を伺う。

**答4** 普通建設事業とともに経常経費を削減し財源の確保を図る【市長】

夕張市の財政破たんはすべての自治体において起こりうる問題である。本市でも市債の残高が増加している。自主財源の確保に努め、普通建設事業とともに経常経費の削減に取り組み市民が安心して暮らせるように財源の確保を図りたい。



未来を見据えた財政運営を！



長野 瑛子  
議員

**質問1** 市民の健康な暮らしをめざし、組織化と温泉、自然を生かす拠点整備を

国・県の高医療指定が続く中、本市の健康増進計画が推進されているが、地域での健康づくり組織体制を急ぎ、福祉センターでの歩行浴や湯治、吹上浜でのジョギング、松林でのクロスカントリーなど、特徴ある拠点整備の考えは。

**答1** 生涯現役で元気な市民づくりの体制は自治会を核に推進する【市長】

健康づくり推進協議会を中心に健康増進計画書策定の準備中である。今後は社会教育課と連携し、校区・自治会を核に組織の構築、リーダー育成等を行う。温泉、吹上浜等を活かした拠点整備は、各地域の健康づくり組織体制が構築された後、検討していきたい。

**質問2** いろは歌発祥地の梅岳寺跡、舜有和尚を市の誇りに醸成、活用すべき

いろは歌は、薩南学派を生んだ桂庵和尚の高弟、梅岳寺開山舜有和尚の教えを通じた日新公の作であり、和尚の木像も大切に保存されている。市の誇りとして醸成し多くの文化財を線で結び、「いろは道」として温故知新の教育文化の街づくり積極的に活かすべきではないか。

**答2** 義弘公にまつわる行事が多く、精神面での機運づくりに努める【市長】

いろは道の提言など歴史的、文化的遺産については認識し、観光を含め今後どう活かすか文化財審議会等にも諮る。

いろは歌の精神面の周知を住民、兄弟姉妹都市にも図りたい【教育長】

いろは歌は鳥津家の精神的バックボーンであり明治維新の原動力となった事は評価し、市内にはいろは歌ゆかりの史跡が数多くあり情報発信や市民のあらゆる学習の場の周知に努める。

**質問3** 流籠馬、橋脚等の保護対策は

県下一群れを成す石橋や田の神、千本楠、南薩線橋脚等の保護のため、景観条例制定の考えはないか。補助金縮小で県指定文化財の流籠馬の存続が危惧されているが、馬の活用を含め今後の対応はどうか。

**答3** 群れの文化財保護は審議会で検討。南薩線橋脚は残す方向で【市長】

審議会において文化財の群れを点と面で結ぶとらえ方などで、十分に検討していく。南薩線橋脚は支障のない限り残す事を県へ要請。

流籠馬については馬の飼育に係わる特殊な経費として考える。今後、管理面など基本的な検討も必要【教育長】



しゅんゆう 舜 有和尚の木像





西蘭 典子  
議員

質問1 環境問題にどう本気で向き合おうか

環境問題は深刻で一刻の猶予も許されない。各人はもちろん、自治体も一層真剣に取り組むべきである。環境基本計画策定や、確実な実践のためのISO環境マネジメントシステムの認証取得の検討をしないか。また、市民自ら取り組む意識づくりと、市民参画のパートナーシップ形式を、どう考え、進めるか。

答1 基本計画を2カ年で策定予定

【市長】

環境基本計画は、平成19・20年度の2カ年で策定。市民団体、事業所、地域代表など、市民自身で主要テーマを見つけ検討して、日置市にふさわしい計画をつくる。環境政策は、将来にわたり継続した改善のために、P(計画)、D(実行)、C(検証)、A(改善)のシステム構築であるが、基本計画を作ってから考えたい。

質問2 生命の根源としての環境教育を

いじめ、自殺など多くの教育的課題に対し、生命の根源や自他と共存する環境教育の基本は重要である。どう考え、進めるか。

答2 食育、命の大切さ、身近な体験学習を

【教育長】

学校では、身近な環境を通して体験学習をしている。物を大切に、基本的しつけなど、次世代を生き抜く力をつけるため、学校だけでなく家庭も取り組ん

で欲しい。

質問3 資源ごみ回収方法の今後は

先進地の例として①収集車を持たず、各自が収荷所で37品目に分別してリサイクルや再利用をする。商品としての価値は財政負担を減らし、ごみゼロを目指す。②缶、ペットボトル、廃プラなど分けやすい物は袋収集、分けにくい物は集荷所でコンテナ収集。食用廃油でバイオエネルギーをつくり、公用車燃料として活用する。③地域力をつけて助け合う、など努力している。

コンテナ収集のモデル作業を途中でやめたのは、市民の公正な判断の機会を失わせ、行政不信を抱かせる結果となった。責任の名のもとに、基本的理念に基づき判断すべきではないか。

答3 来年9月頃結論を出す

【市長】

経費や場所など、検証が不十分だったため、今調査している。基本的にはきちんと分別されることが前提である。※ISOとは…環境負荷を低減するための仕組みを企業・団体に求めた環境マネジメントシステムの運用規格である。



資源ごみ分別作業 (リサイクルセンター)



漆島 政人  
議員

質問1 平成19年度の歳出予算規模について

平成17・18年度予算は建設事業費増に伴い、合併前に策定された財政計画よりかなり増額になった。その事を受け今年度、具体的な削減計画が策定された。しかし、先に示された19年度概略予算は、その計画よりまだかなり多い。何年も計画に沿わない予算編成をすれば、住民に言い訳がたたない。また、行財政改革推進との整合性も問われると思うが。

答1 歳入の状況を見極めながら予算規模を決定していく予定である

【市長】

19年度予算は239億円程度を見込んでいたが、原課から上がって来た予算要求は243億円程度であった。また、行政改革の行動計画では230億円程度を示していたが、国庫補助を伴う継続事業等もあるので、基本的に235億円程度の中で予算編成を進めていきたい。

質問2 歳出予算は230億円台で抑える必要性を感じるが

国からの税源移譲や来年度から導入される新型交付税も国の意図は地方への歳出削減である。また、扶助費も法改正等により増える方向にある。したがって行政改革の計画に沿った230億円台で抑えなければ、後年度の財政計画に影響が出ると思うが。

答2 予算編成の一番の課題は一般単独事業の割り振りである

【市長】

財政計画の中で大事なことは、補助金

や起債の交付税裏付け等を含めた中で事業を進めていくことである。予算規模だけ圧縮しても効果があるのか、また財政的にいいのか難しい部分もある。

質問3 旧町における投資的事業の予算配分について

平成17・18年度の建設事業費は旧町別に比較した時、かなり開きがある。投資バランスが壊れた状況が何年も続けば、均衡ある町の発展どころか政治不信にもつながる。また、補助事業とはいえ、大規模な運動施設整備は類似施設の拡大を招いている。公共事業に対する住民の理解や投資バランスを保つためには、地域別の投資予算枠を設けるべきだと思うが。

答3 新しい国庫補助事業については、地域バランスも考えて整備していく

【市長】

現在、合併前からそれぞれの町で取り組んでいた継続事業を実施している。また、これらの事業は日置市として未整備分としてとらえ取り組むべき事業だと思っている。



チェスト小鶴ドーム (総事業費約6億円)



重水 富夫 議員

質問1 市内建設業者の育成を

土木・建築・舗装業は、今年7月入札分から統一した格付けによる入札や適正な執行がなされ、ほとんどを市内の登録業者が受注していると理解する。電気・水道・管工事業においては格付けが無いが、その理由を伺う。また、仕事が少ないと聞く。業者育成面から、本市発注のほとんどを受注できる手立てが必要と思うが、市長の考えを伺う。

答弁1 地元業者優先で行う 【市長】

発注件数が少ない、発注規模が小さいなど、競争性や受注機会の確保を図る観点から、業者の格付けは行わない。工事内容、登録業者の施工実績、施工能力等を勘案し、個々の工事ごとに指名業者を選定して、入札を行っている。今後、発注件数、規模を見極めながら検討する。また、県の格付けに準じて、地元の業者が受注できる様な分割・分離発注を行う。

質問2 地産地消について

- ① 今や農産物直売所は流行であり、地域活性化に寄与している。今年度より市単独事業である小規模ビニールハウス施設事業の取り組みの状況を伺う。
- ② 学校給食の米飯を現在の週3回から週4回に引き上げられないか。
- ③ 現在、各地域で月1〜3回実施している地元産米利用をもっと増やせないか。

か。  
④ 給食に係わる食材（肉・魚貝類・卵・野菜・果実）等の市内業者の利用状況と、今後増やす考えは無いかを伺う。  
⑤ 給食費未納者が多いと聞くが、その対応策は。

答弁2 店の供給体制が整えば可能な限り進める 【市長・教育長】

- ① 物産館、直売所等への販売のため、65歳以上の高齢者3戸以上で申し込み、小規模ハウス建設費の50%を補助する。本年度4地域で12棟すべて申し込み終了である。
- ② 諸条件を勘案すると現在のところは難しい。
- ③ 今後十分検討する。
- ④ 伊集院5%、東市来32%、日吉35%、吹上25%である。地元業者の供給体制が整えば、可能な限り進める。
- ⑤ 伊集院地域で増える傾向にある。来年1月より各学校で取りまとめをし、徴収率を上げるようにしたい。

質問3 原子力発電施設等周辺地域交付金を国・県に要望すべきでは

国は電源立地をサポートするため、発電施設等の設置及び運転の円滑化を図る電源三法を設けている。この中で原子力発電施設等周辺地域交付金がある。本市は合併により薩摩川内市の隣接市となった。いちき串木野市とも連絡を取り合い、国・県に交付金の要求をするべきと思うが、市長の考えを伺う。

答弁3 機会を見て要望 【市長】

施設建設時が対象のため、当分は難しいと思うが、今後機会を見て要望する。



鳩野 哲盛 議員

質問1 テレビの難視聴・携帯電話の不通話地区の今後の対応について

難視聴や不通話への対応は、光ケーブルによって解消されることだが、市内全ての地区が解消されるまで、どのくらい時間がかかるか。

答弁1 平成23年7月のテレビのデジタル化までに整備を図りたい 【市長】

市内には難視聴解消のため共同受信組合が多くある。平成23年7月にはテレビがデジタル化されるため、現在整備中の地域インターネットの光ケーブルを使って、ケーブルテレビの整備を行う。また、防災無線の改善・統一もあわせて対応したい。

質問2 ケーブルテレビの費用負担と共同アンテナについて

携帯電話の不通話地域は市内に10〜12カ所あり、中継アンテナ設置には1本5千万円程かかる。光ケーブルの整備と平行しながら、通信事業者と連携し解消に努めたい。

答弁2 地域全部がケーブルテレビに加入するかが問題である 【市長】

先進地ではケーブルテレビは加入料が1万円、使用料が毎月1千5百円から2千円程かかる（NHK受信料は別）。地域全部が加入するかが問題である。補助金は国庫補助が2分の1あるが、通信事業

者と連携をとり、市民の声を聞きながら対応したい。

質問3 史跡の整備について

「篤姫」が大河ドラマで放映されるに当たり、本市内にもゆかりの史跡がある。これらを整備し、観光地の一つとして他の史跡と連携を図り、地域の活性化につなげられないか。

答弁3 できるところから整備したい 【市長】

日置島津代々の墓など多くの史跡が存在している。道案内板や説明板など関連史跡の整備をできるところからしたい。

質問4 民俗資料の収集保存について

空家が増え古い民家が解体されているが、歴史的にも貴重な民具や古文書など先人の知恵と工夫を大切に保存できないか。

答弁4 文化財審議会等にはかり対応したい 【市長】

要望があった貴重な物は、文化財審議会等にはかり対応したい。また、文化財等を紹介するパンフレットの整備にも努めたい。



小松帯刀像（宝山ホール前）





松尾 公裕 議員

質問1 教育基本法について

教育基本法が国会の最重要課題であるが、中でも愛国心、郷土愛、公共の精神、道徳心、自律心等について教育長の見解は。いじめによる自殺や幼児虐待、誘拐事件など、どこで起きるかわからない社会状況であるが、いじめ問題での市の現状と対策は。また、このような中で学校教育や家庭教育、地域はどうあるべきか。

答弁1 研修や指導をしている【教育長】

これまでの基本法を引き続き尊重しながら、新たな理念を盛り込むことは必要



湯之元市街地を流れる山田川

質問2 湯之元地区の山田川について

湯之元の街中を流れている山田川は以前改修したが、大雨時は街の中心部ではらんらんし、抜本的対策が必要である。その対策として、暗きよバイパスを設置することはできないか。

答弁2 流下能力の向上により防止したい【市長】

暗きよバイパスの方法もあるが、市道の中を通すには幅員が狭いため、施工が非常に困難である。多額の経費が必要であるので難しい。扇形を改修し流下能力の向上によりはらんを防止したい。

質問3 コミュニティバスについて

東市来地域はコミュニティバスが巡回しているが、路線バス廃止後、乗客が乗りきれないことがある。対策として30人乗りを大型化するか、毎日運行はできないか。

答弁3 検討委員会で検討する【市長】

コミュニティバスを大型化するのは道路の幅員と経路の課題がある。また、毎日運行については、来年路線バスとコミュニティバスを含めた検討委員会で検討する。



坂口 洋之 議員

質問1 いじめの件数と実態は

全国各地で、いじめの問題が社会問題化している。本市の状況と取り組みはどうか。教育委員会・学校は、件数を少なく申告するなど「数減らし主義」の体質があるのではないか。

答弁1 小学校11件、中学校14件【教育長】

いじめの内容は、無視する・わざと避ける・体に関する中傷などである。臨時校長会や職員会などで事例を出し合い、チェックリストに基づき問題解決に取り組んでいる。数減らし主義については、あつてはならないと考える。

質問2 詰め込み教育と学力競争が要因では

今の子供たちは、ストレスを抱え精神的に病んでいる。教員も忙しく課題に追われ、子供たちと十分向き合う時間も無いようだ。教員が子供たちと向き合って話せるような教育をするべきでは。

答弁2 さまざまな要因が考えられる【教育長】

ストレスも背景にあると思う。少子化で人間関係の希薄さ、甘やかされている面もあると思う。

質問3 地域活性化に本庁舎一部機能移転を

合併後、本庁・3支所の職員数と来庁者の増減は。本庁は職員増で手狭のように、十分なスペースを確保できている

のか。来庁者の相談に対しても、プライバシーを守るスペースがあるのか。合併により本庁に職員が集中し、3支所は空きスペースも多い。一部機能を分散させる必要があるのではないか。

答弁3 統括する事を考え、判断したい【市長】

職員数は本庁38人増。3支所は18人、24人減。来庁者数は本庁1割増。3支所減である。相談スペースについては、現在、空き部屋を利用してはいる。今後検討したい。職員増により手狭になっているが、今後職員適正化で改善されると思う。機能については、今後検討する。

質問4 市民病院のあり方について

市民病院は、日吉地域にとって中心的医療機関である。現在、あり方検討委員会が開かれているが、今後の運営について市民・入院患者・職員から心配の声がある。今後の方針について十分協議して進めるべきではないか。

答弁4 経営的な部分を見て総合的に判断する【市長】

補正予算を組み、コンサルタントに調査依頼し、今後の運営について判断する。



日吉地域の中核医療を担ってきた市民病院



門松 慶一  
議員

**質問1** 商工会の合併が決定したが、これからの考え方は

商工会の合併に関して、補助金は1年据え置くべきと考える。観光協会の合併もあるが、イベント・行事等も1〜2年はそのまま続けるべきと考える。また市共通プレミアム商品券の取り扱いについてはどう考えるか。

**答1** 補助金は各方面の意見を持ちよりに検討していく **【市長】**

商工会の運営基盤は、国・県・市の補助金により支えられている。法的にも収益事業はできない。市の補助金審査委員会・行政改革推進委員会の意見を求めながら考えていく。イベント・行事等は、観光協会の合併協議の中で検討していく。プレミアム商品券は商工業の活性化の面で必要であると考え。4商工会の統一の見解で市としての対応を考えていきたい。

**質問2** 少林寺流空手道錬心館と市の関連について

世界15カ国、門下生35万人の少林寺流空手道錬心館の総本山が、日置市伊集院の地にあることに対してどう考えているか。また演武会の伊集院開催の件と、青少年健全育成の面で錬心館とのこれからの取り組みについて伺う。

**答2** これからも良い形で交流していきたい **【市長・教育長】**

これほどの組織の総本山が伊集院地域にあることを大変誇りに思っている。青

少年健全育成・教育の面で、地域の活性化・子供達の教育に大きく貢献していただきたい。演武会も錬心館の体制を整えれば、日置市で開催していただきたい。教育委員会としても、青少年健全育成の面で協力していただけたら、とても有り難い。

**質問3** 路線バス減便の対応等について

妙円寺団地の住民は、バスの利便性が良いということで土地購入をしている。岩崎グループの赤字路線バス廃止の問題で、3分の1に減便された。また、コミュニティバスの連携の問題等で、団地の住民は不便になり大変困っている。改善に向けた対応等をどう考えているか。

**答3** 状況を踏まえて、対応策を協議・検討していきたい **【市長】**

11月30日の住民説明会に100名ほど参加した。その中で1時間に1本欲しい。値上げしても便数を増やして欲しいという意見があったと聞く。市としても、林田側と交渉していきたい。企画案を検討する。



増便が望まれる林田バス(妙円寺県営住宅前バス停)



田畑 純二  
議員

**質問1** 日置市という自治体の経営について

日置市という自治体の経営者として、現在の市の実態をどうとらえ、経営戦略をどう考え、今後どう進めるのか。住民とのコミュニケーション手段として、ICTを活用するつもりはないか。市の財政を透明にするために、公会計制度改革をどう考えているのか。

**答1** 財政状況はきわめて厳しい状況にあると認識している **【市長】**

事業の見直し等を行い、包括的な自治体経営改革に取り組んでいく。地域間格差のない住民サービスの向上や自治体経営の健全化に取り組む。高度な情報技術を活用して日置市の情報化を図り、都市部と差がない環境を構築していく。公会計制度改革に向けての取り組みを行い、事務事業の改善を図っていきたい。

**質問2** 本市の危機管理について

現在の市職員の財政問題も含めた危機管理意識をどうとらえ、それを高めるためにどうするのか。本市における危機管理の現状はどうで、その課題・問題点にどう対処しているか。アスベストから住民を守るために何を実行しているか。

**答2** 職員は財政状況についての危機管理意識を持っているものと認識 **【市長】**

全職員が企業経営者の感覚を持って収入の確保や経費支出にあたるべきで、経費削減に向けても鋭意努力する。防災

計画と国民保護計画を現在作成中。課題は危機管理を行う体制整備で、全市のな連携の確保を図るための体制づくりを検討していく。アスベストは、市民生活課が相談窓口である。

**質問3** 総合支所となっている3地域の役場の空き部屋について

空き部屋の地域への解放や有効利用の実態はどうか。各支所での利用法に関する検討結果はどうか。旧議場等で各種団体とまちづくりフォーラム等の催物も開催したらどうか。これらの利用活用等の明確な解決策のためどうするつもりか。

**答3** これまでのところ具体的な地域への解放の例はない **【市長】**

会議室や書類倉庫として利用しており、東市来支所が旧議場含めて4室、日吉支所が旧議場の一部、吹上支所が旧議場含めて3室ある。行政改革推進本部や各職場で色々な活用策の検討を行っている。イベントホール・コミュニティホール等色々な活用法が考えられる。

※ICTとは：情報通信技術の略称で、インターネットを中心とした通信ネットワークを生活やビジネスなどに活用できるようにしたもの。



空きスペースになっている旧町議会議場(日吉支所)





佐藤 彰矩  
議員

**質問1** 土地開発基金で購入した土地の活用は

合併前に土地開発基金で購入した土地で活用されていないものが多い。財源不足の本市として、整理、処分は考えないか。

**答弁1** 整理、処分も検討し、有効利用を図りたい  
〔市長〕

基金で購入した土地、市有地については検討し、未利用地の貸しつけや売却等有効利用を図りたい。基金の中身も精査し報告する。

**質問2** 本庁窓口で総合案内係の設置は

本庁も来客が多くなり、高齢者や初めて来られた人は迷うこともある。ロビー内に総合案内専用の係は設置できないか。

**答弁2** 市民係の窓口で対応していく  
〔市長〕

市民生活課の市民係の窓口が総合案内としての役割を担っており、担当課への案内や担当職員を呼んでの対応に努めている。市民が不便を感じることはないよう、案内板の設置を検討する他、職員が積極的に声をかけるなど、全員が案内役であることが望ましい。

**質問3** 水道料金改正と運営は

水道料金は旧4町の格差をなくし、料金体系を構築しなければならぬが、住民の負担を考え、企業会計だが、一般会

計からの繰り入れや留保資金を生かすなどして料金の軽減はできないか。

**答弁3** 留保資金を取り崩しながら経営していく  
〔市長〕

定められた区分では一般会計や交付税等からの繰り入れを行っている。住民の急激な負担増を考慮し、合併時に持ちよった資金を平成21年度まで取り崩しながら経営していく。

**質問4** 伊集院城山公園の整備及び入口道路の改良は

城山公園はザビエルが日本で初めてキリスト教布教の許しを得た地であり、観光の目玉となり得る公園である。公園内の整備や入口道路の改良が必要と思うが。

**答弁4** 入口道路改良が先決  
〔市長〕

現状の中で新たな公園の整備は難しい。また入口道路については、公安委員会より、交差している県道の勾配の解消を図るなどの検討条件が出されており、今後県との協議が必要である。入口の改良は必要と考えている。



城山公園入口



成田 浩  
議員

**質問1** 各地域の主要道路の安全性確保と維持管理について

旧町間を結ぶ幹線道路の整備充実と、渋滞緩和のためのバイパス道路や高速道路へのアクセス、生活道路の整備などを進めるべきである。市内移動を円滑にして、災害時にも対応できる道路網の確立、鹿児島市や日置市の中心地と各地域を結ぶ道路の整備、通勤通学の利便性向上や観光・人的交流の促進を図ることが求められる。どこに住んでいても不便さを感じない社会基盤づくりが必要だと思ふが、市長の考えは。

**答弁1** 道路の改良を進めていく  
〔市長〕

生活の基盤整備の中でそれぞれの地域で道路は改良されている。維持管理については、市の作業員、管理公社、建設工事業者に依頼してある。

カーブカット、ミラー設置、伐採、段差解消、歩道設置、側溝の排水対策、交差点の見直しなど、整備要望箇所は基本的に自治会長を通してもらい、その中で優先順位をつけて予算の中でできるところから先にやっていく。

**質問2** 安心・安全な歩道確保を

歩行者（児童生徒・老人・買物客）を守るユニバーサルデザイン型歩道の設置が急がれる。魅力ある都市環境づくりを進める中で、各小中学校の通学路にも設置が求められるがどうか。

**答弁2** 年次的に整備していく  
〔市長〕

大事なことであるが、要望が来ない。現地を確認しながら、整備を年次的に進めていく予定である。

**質問3** 振動対策、騒音対策は充分か

交通量の増加による付近住民の振動対策、騒音対策に十分な配慮がなされているのか。危険箇所把握について協力をお願いはできないのか。

**答弁3** 総合的に判断していく  
〔市長〕

県道、市道の埋設工事のあとは原型復旧が施工者でされているが、時間が経つうちに段差が生じてくる。総合的に判断して作業をしていく。危険箇所の把握は、郵政公社へ情報提供の協力を求めていく。



通学路の安全確保を（国道3号線）



池満 渉  
議員

**質問1** 主要施策満足度調査について

この調査の目的は、今の時期に実施するのは何故か。市の財政状況は極めて厳しい。『満足度』が低く、『重要度』が高い場合の対応はどうするか。本市の財政状況などわかりやすく説明し、理解を求めるのが先ではないか。『公』に携わる者ほど『先憂後楽』の精神が必要と思うが。

**答弁1** 市民意向を厳しい財政状況にどう反映させるか、分析活用する「市長」

行政改革大綱に沿って、事業効果など市民の意識を知り、厳しい財源の配分や今後の施策に活用する。それぞれの集計結果ごとに、優先順位を決め対応している。市の財政状況は広報紙などで説明しているが、今後も機会をとらえてわかりやすく広報していく。市長・職員が先頭に立って、全てに取り組んでいく。

**質問2** 『男女共同参画推進懇話会』の状況とアンケート内容について

懇話会の構成と、委員からの意見や提言にはどのようなものがあったか。それらの意見をアンケートに反映させたか。アンケートは男女共同の立場からの内容になっているか。『結婚・家庭・離婚』など、設問・回答例に適切でない表現もあるが。専業主婦の観点はああるか。

**答弁2** 市民総参加の男女共同参画社会建設をすすめる「市長」

男6名、女12名の委員で構成。男らしさ女らしさを否定せず、専業主婦の立場

も尊重した内容にすべきとの意見などがあった。アンケート内容は、他自治体や国の例も参考に作成し、一般的なものと思う。決して男らしさ女らしさを否定するものではなく、それぞれの理解の仕方や個人の考えで回答してもらえばいい。専業主婦についても、各自の考えもあり否定はしていない。

**質問3** 子どもの健全育成について

いじめの問題など、その問題解決のため教育委員会はどう取り組むか。家庭教育力向上にはどう取り組んでいるか。子どもや親のモラルの欠如が一番の問題と思う。教育基本法の改正など教育改革の必要性を痛感するがどう思うか。

**答弁3** 大人・人とふれあう集団活動を充実し、個から公共への精神を養う「教育長」

学校現場では管理職研修を実施。道徳教育の充実、職場体験や高齢者とのふれあい、集団宿泊学習の実施。個人主義から公共心を養うにふさわしい改革を期待している。



職場体験中の東市来中の生徒



出水賢太郎  
議員

**質問1** 老朽化が進む小・中学校の整備をどうするのか

伊集院中の改築が進んでいるが、旧耐震基準（昭和56年以前）の校舎で、耐震診断未実施が市内全校で50棟もある。その状況は。また、築40年以上の伊集院小・伊集院北小・伊作小などの整備計画はどうか。

**答弁1** 耐震優先度調査を実施し、早急に年次の整備計画を決める「市長」

耐震診断未実施の校舎が多いため、18年7・9月、どの建物を優先すべきか判断する耐震優先度調査を行い、集計中である。今後、結果に基づき耐震診断・耐力度調査を行い、建設費用の試算等、年次の整備計画を決め、各年度予算に反映させる。厳しい財政状況の中、どれだけの費用を学校建設に充てるか、大きな課題である。

**質問2** 学校の施設や備品の整備要望にしっかり応えているか

学校現場では少ない予算で施設の維持補修に苦労し、年度当初に要望した備品も届かず支障が出ている所もあるが、どう考えるか。また、AED（自動体外式除細動器）の学校への導入は考えないか。

**答弁2** 児童生徒の安全対策を優先して整備する「教育長」

19年度予算では小規模補修など402カ所、約2800万円を要求している。児童生徒の安全を重視しているが、財政的に厳しい。備品は東市来と伊集院

が一括発注となり、事務煩雑で遅れた。お詫びしたい。AEDは19年度、市内の全中学校と管理人常駐の運動公園に1台ずつ配置できるように、財政サイドに要求している。

**質問3** 行政改革の具体化を急げ

日置市の財政状況の公開を進めるとともに、「行政評価システム」や「事業仕分け」の導入で、行政が行う事業の必要性や効率性・有効性を客観的に精査し、行政改革アクションプランで掲げる5年間で50億円削減の数値目標を現実に具体化すべきだが、どう考えるか。

**答弁3** 成果重視の評価制度により、3年で全事業の精査・見直しを行う「市長」

外部委員も入れ行政が行う事業を「計画・実行・評価・改善」サイクルで検証、成果重視型の行政評価をしていく。また、事業の必要性や事業主体などを第三者が評価し、事務事業や公共事業の実施判断を行う「事業仕分け」の導入を検討し、大規模な継続事業を含めた全ての事業について、今後3年間で精査し見直すことで、アクションプランや財政計画の見直しと更なる行政改革の推進を図っていきたい。



伊集院小校舎内のひび割れ



# 視てきました！ ＝先進地に学ぶ＝ 行政視察報告

## 《環境福祉常任委員会》

環境福祉常任委員会は、10月16日（18日）に岡山県高梁市・笠岡市を訪問し、テーマに沿って調査・研究を行った。

### 【岡山県高梁市】

平成16年10月1日に5市町が合併した。人口3万6848人、面積547・01km<sup>2</sup>、高齢化率は34・72%である。

### 【岡山県笠岡市】

岡山県西南部に位置し、人口5万7306人、面積136・01km<sup>2</sup>、高齢化率は27・3%となっている。



笠岡市での視察

### ●テーマ① 健康づくりと医療費の適正化について

・高梁市では、愛育委員など地区組織で検診受診率向上のための活動を実施している。また、すこやか家族の健康カレンダーの配布、国保ヘルスアップセミナーと短期人間ドックの実施など、様々な事業展開が行われている。なお、本年10月からは小学3年生まで医療費を無料にしている。

・笠岡市では、「健康づくりカレンダー」（成人保健・母子保健・予防接種）や各種検診日程表を配布し、保健指導の効率の取り組みがなされている。

●テーマ② 包括支援センターについて  
・高梁市地域包括支援センターは、平成17年4月に設置された。新予防給付対象者は650人と予想される。介護予防特定高齢者の把握が十分にできないので、

医療機関で個別方式を通常で実施し、特定高齢者を把握できるよう検討中とのこと。

・笠岡市地域包括支援センターは、平成18年4月に設置された。3年後には社会福祉協議会へ運営委託を考えている。今後、サービス利用者が800人程度見込まれ、居宅介護支援事業者からの引継ぎが増えることは必至であり、可能な限りすぐ就業できる人を優先採用することで、スムーズな業務推進を図る必要がある。

### ●テーマ③ 介護予防について

・高梁市では、外出支援サービス（社協へ委託、30分500円）を実施しているが、高齢化が進み交通機関利用に支障をきたしており、対象者のニーズ（生きがいを重視したサービスを身近な場所で開催したい）に応えるべく検討したいとのことである。

・笠岡市では、特定高齢者の運動機能の向上、栄養改善、口腔機能の向上など、事業実施後に効果が出ている。また、認知症介護研修センターでは、介護教室の開催や認知症高齢者の介護に関する正しい知識や技術について、全国への情報発信と研修の受け入れがなされている。

## 《産業建設常任委員会》

産業建設常任委員会は、11月5日（7日）に滋賀県高島市・栗東市を訪問し、テーマに沿って調査・研究を行った。

### 【滋賀県高島市】

平成17年1月1日、5町1村が合併し発足した。人口5万5635人、面積5

11・36km<sup>2</sup>である。

●テーマ① 農業振興施策全般について  
17年度より「環の郷」計画プロジェクトを立ち上げ、環境保全型農業の推進に向け、菜の花プロジェクトや牛糞・鶏糞のバイオマス利用、雑穀の生産・販売促進をテーマに取り組んでいる。

### ●テーマ② 都市農村交流について

マキノ地域では体験学習による交流を行い、今津地域では「そば」を中心にイベントを開催している。安曇川地域では大阪府守口市と姉妹都市を結び、1区画100m<sup>2</sup>の貸し農園を行っている。また、ニュージールランド産のポイズンベリーの苗を輸入栽培し、「アドベリー」の愛称でジャム・ソース・ジュースなどに加工し、道の駅などで販売している。

### ●テーマ③ 獣害対策について

イノシシ・サル・シカの被害が深刻で、



栗東市での視察

猟友会に駆除代やパトロール委託料など年間約1100万円支出している。また、電気柵補助金も年間約6000万円となっている。

【滋賀県栗東市】

栗東市に隣接し、京阪神の通勤圏内にあるため、大規模な住宅整備や企業進出が相次ぎ、人口が増加している。人口6万1953人、面積52.75km<sup>2</sup>である。

●テーマ① 農林水産物を基本とした事業展開について  
都市近郊農業に取り組み、経営基盤確立農業構造改善事業を利用して、農畜産物処理加工施設「アグリノ郷」を建設。農産物、みそ、豆腐など年間3億円の売上がある。

●テーマ② 農産物の地産地消の推進について  
農産物出荷組合や朝市、JA直轄の「元気屋」などで、地元産の野菜・米を販売している。

●テーマ③ 手づくり農園について

栗東市地域農政総合推進協議会が事業主体となり、総面積4916㎡、216区画の農園を運営している。駐車場や水の確保が問題となっている。学校では、米作り体験に10〜15万円の補助を出し、18年度からは給食に栗東市の米を100%使っている。

《教育文化常任委員会》

教育文化常任委員会は、11月8日〜10日に山梨県山中湖村・東京都千代田区・台東区を訪問、テーマに沿って調査を行った。



山中湖村情報創造館での視察

【山梨県山中湖村】

富士山麓のリゾート地として有名な村で、別荘や保養地、精密機械の工場が立地し、人口約6000人である。

●テーマ「図書館における指定管理者制度導入のあり方について」

山中湖村図書館「情報創造館」は、平成16年4月開館。指定管理者制度を導入した全国初の図書館である。指定管理者はNPO法人で、9名の職員で運営、年間345日、朝9時半〜夜9時まで開館している。蔵書数は3万5千冊、自動貸出・返却機を設置している。問題点として、料金収入が得られない施設である図書館では、運営費の問題や、行政がどこまで面倒を見るのかということが挙げられる。指定管理料や条例、協定書は十分に精査する必要がある。

【東京都千代田区】

都心に位置し、皇居・国会議事堂がある。人口4万4868人だが、オフィス街のため昼間人口は90万人と極端に多い。

●テーマ「幼保一元化の取り組みについて」

千代田区では昭和63年から幼稚園と保育園の連携、年齢区分方式による幼保一元化に先進的に取り組み、平成14年区立「いずみこども園」を開設した。特徴として、施設条例を新たに制定し、入園要件を拡大したため、保育時間のパターンを保護者が選択できるようになった。結果、家庭の事情に合わせて保育が進められるとのことである。幼保一元化については、国の認定こども園制度の運用も含め、早急に日置市の指針を示すべき。

【東京都台東区】

上野・浅草といった下町風情の残る地域で、歴史・文化・観光を大事にする区政が行われている。人口16万712人。

●テーマ「公共施設の予約システムの構築について」

台東区公共施設予約システムは、平成13年の生涯学習センター開設に伴い、図書館補助事業として導入した。公民館や体育館、運動公園など公共施設の空き照会・予約・抽選を、電話・インターネット・携帯電話から申し込みができるシステムである。24時間いつでも申し込み可能で、インターネット利用が57%を占める。日置市においても、現在整備中の地域インターネットを活用し、各施設を一元管理するシステムの構築が早急に望まれる。

議会の動き

11月1日	決算審査特別委員会
2日	行政視察来庁（北海道北見市議会）
5日〜7日	産業建設常任委員会行政視察（滋賀県高島市・栗東市）
7日	行政視察来庁（栃木県鹿沼市議会）
8日	行政視察来庁（宮城県大崎市議会）
8日〜10日	教育文化常任委員会行政視察（山梨県山中湖村・東京都台東区・千代田区）
15日	第7回行政改革調査特別委員会
16日	行政視察来庁（兵庫県三木市議会）
20日	行政視察来庁（福島県福島市議会）
21日	全員協議会・第8回行政改革調査特別委員会
24日	議会運営委員会
12月1日	第5回定例会（本会議）・全員協議会・第9回行政改革調査特別委員会
4日	総務企画・環境福祉・教育文化常任委員会
5日	環境福祉・産業建設常任委員会
5日	第10回広報編集委員会
8日	第10回行政改革調査特別委員会
8日	議会運営委員会・全員協議会
12日	第5回定例会（本会議）・一般質問
13日	第5回定例会（本会議）・一般質問
13日	議会運営委員会
14日	第5回定例会（本会議）・一般質問
14日	全員協議会・環境福祉常任委員会
19日	議会運営委員会・全員協議会
21日	第5回定例会（最終本会議）
21日	議会運営委員会・全員協議会
26日	第2回広報編集委員会
10日	議員研修会（鹿児島市）
10日	第3回広報編集委員会
11日	議員研修会・議会運営委員会
16日	環境福祉常任委員会
16日	第11回臨時議会・全員協議会
22日	第11回行政改革調査特別委員会
22日	議会運営委員会行政視察（福岡市議会）
24日	第4回広報編集委員会
26日	教育文化常任委員会所管事務調査（薩摩川内市）
30日	



# 行財政改革調査特別委員会

## 中間報告

北海道夕張市の財政破たんは、他人事でないという衝撃を多方面に与えている。自治体は企業のように倒産はしない、地方債に暗黙の国県保証がついている、などの思い込みは通用しないということが明らかになってきた。自治体破たんは住民生活を直撃する。自治体は住民に対して、健全に運営していく責務を負っている。その確実な実践のために、日置市も行政改革大綱、アクションプランをつくり、健全財政を目指していこうとしている。

本委員会は、その目的が十分に達成できるかどうか、市民の視点で充分見守り調査することを目的として、18年6月議会で設置された。19人の委員で7月20日から12月8日まで、計10回の委員会を原則公開の下で開催した。総務企画部、合併プロジェクト室、財政管財課などの説明を受け質疑し、改革推進に反映するために幅広く議論を重ねてきた。最終的に19年6月議会で提言を含めた報告予定であるが、3月議会当初予算に反映すべく、次の調査事項と主な意見を示し、中間報告とする。

### 1、日置市の行財政運営の状況と課題について

平成16年度決算は旧町のものであったが、財政力は低く、硬直化が進むという厳しい状況の中で合併がなされた。17年

度日置市決算においても、経常収支比率・実質公債費比率などもぎりぎりのところまできており、比率を一刻も早く下げねばならない。基金取り崩しのため実質単年度収支も赤字であり、人件費・扶助費・公債費・物件費などいずれも高い。建設事業費が類似団体の2倍、市税は2分の1という現状。各課枠配分で緊急・優先度を考慮して、適正規模の200億円位には落とさねばならない。削減はサービス低下や継続事業との兼ね合いで難しい点もあるが、50億円削減は交付税算定替えがあるうちにしなければならぬ。第3セクター農業公社は農業後継者不足に対応するもので、赤字の場合は日置市8割、農協2割で負担との説明があった。

#### 質疑・意見の主なもの

- ・地域の産業力が弱く、市税が低いので、住宅政策や企業誘致も必要。
- ・無駄を無くし節約せねば夕張市のような事態もあり得るのではないか。
- ・投資的経費が高いが、住民が負担するもの、市が負担すべきものの検証が必要。
- ・人件費が市民税を超え、収入と支出が合わない。
- ・起債が増えたのは、合併前に各町積み残し事業を済ませようとしたからでは。
- ・重複する公共施設の精査が必要。市民に状況を周知し協力をもらうべき。

### 2、健全な財政運営のあり方（各種事務事業の課題や適正化にむけての検討・アクションプランの進捗よく状況調査など）

今後予測される財政負担の大きな事業として、小中学校校舎建設、地区公民館の整備、市営住宅・公営住宅の建て替え、道路整備、消防施設整備、防災行政無線や地域イントラネット・ケーブルテレビ整備など。現在、3カ年の総合振興計画（案）を作成中である。継続事業を効果的に早めに終わらせ市全体の新規事業に取り組む。合併利点を感じるには、ソフト面の充実も必要。また、アクションプランは取り組み中であるとの説明であった。

#### 質疑・意見の主なもの

- ・継続事業中心は予算の偏りを生む。大きな事業より中小程度の事業を多くすることも必要なことではないか。
- ・合併前の財政計画との整合性はあるか。
- ・各地域で緊急性・優先度が異なるのではないか。市全体としてみるべきである。
- ・公民館組織の三層構造の整備を急ぐべき。
- ・補助金改革が必要ではないか。
- ・取り組み評価の公開が必要。大切なものは残し、効果の無いものは切ることも。
- ・特別職給料削減の検討はないのか。
- ・財政と企画など、各課の連携は充分か。
- ・50億円削減の数字合わせが優先され、市民が求める方向になるか。
- ・バランスシートや外部監査など必要。

### 3、簡素で効率的な行政機構のあり方についての調査。（給与・報酬・議員定数・各種審議会など）

給与・報酬に関しては、いずれも上げる、下げる、慎重であるべきの観点から多くの意見が出された。議員定数は26人、24人、22人、20人の意見があった。

#### 意見の主なもの

- ・給与の官民格差是正や地方給与の検討で人件費から取り組まねばならない。
- ・削減には事務量減や効率化が必要。サービス低下をさせず、勤労意欲保持や人材をどう活かすか課題。
- ・報酬は生活・責任報酬、専従・兼業などの観点がある。仕事に見合い、有能な人材を確保する報酬が適切。
- ・定数は急激な削減は危険。4委員会では、24人必要では。
- ・審議会委員は同じようなメンバーが多い。公募人選や女性委員増を。

### 4、まとめ

以上が、今までの調査の概要であるが、これらの調査に当たった委員の多くが、日置市の実態が決して甘くないということを実感した。そこで特に19年度予算編成において、①十分な情報公開で市民に理解を求め、②アクションプランは金額のみの減額でなく、中身の精査と検討をする。③投資的経費が多い中、継続事業優先の再検討は必要ないか。④19年度予算方針を原則として、執行一体となって予算編成に取り組む。これらを強く提言して、確固たる信念をもって、住民を守る行財政改革推進を構築するよう、強く要請する。

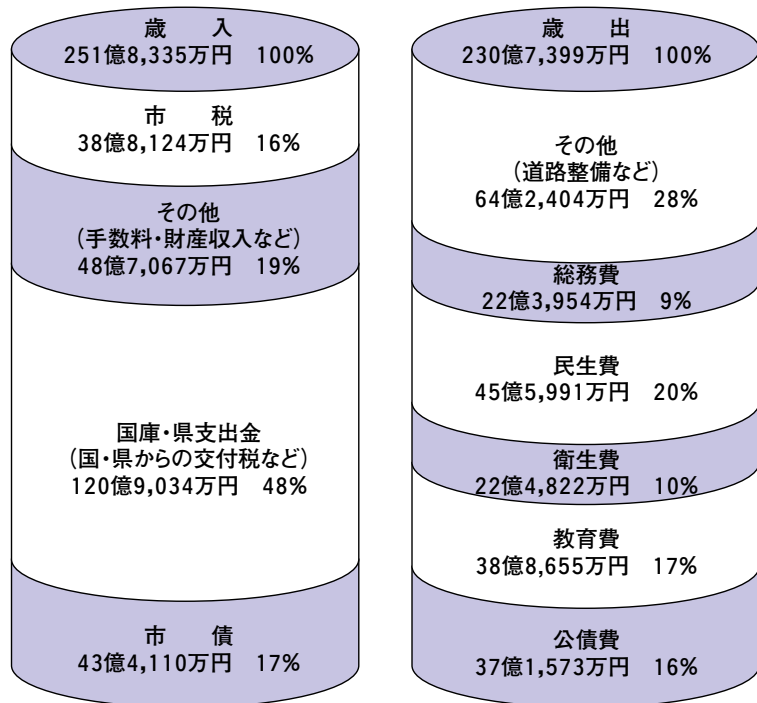
# 決算の認定

平成17年度一般会計・各特別会計決算は、第4回定例会で市長から提案され、本会議閉会中に決算審査特別委員会（重水富夫委員長、委員12名）で審査が行われた。12月1日の本会議において審査結果が報告され、賛成・反対の討論を行った後、起立採決をした結果、賛成20票・反対8票で委員会の決定どおり認定した。

日置市の財政状況について（平成17年度決算）

主な指数	日置市	類似団体	指数の読み方
財政力指数	0.356	0.55	指数が「1」に近く、あるいは超えるほど財源に余裕がある。
経常収支比率	96.6	93.4	100に近づくほど、財政硬直化が進んでいる。
実質収支比率	12.0	3.7	15%を超えると危険水域である。
公債費比率	18.9	16.7	10%を超えないのが望ましい。

## 一般会計決算の構成



- 【平成17年度に行った主な事業】**
- 戸籍事務の電算システムの導入
  - 福祉事務所設置、生活保護業務の実施
  - かごしま竹の里づくり事業の推進
  - 江口浜海浜公園の供用開始
  - 土地区画整理事業の実施（徳重地区・湯之元第一地区）
  - 公営住宅の建築（中園住宅・紙屋敷住宅・湯之浦住宅など）
  - スクーリングサポート事業、スクールカウンセラー配置事業の推進
  - 上市来中学校屋内運動場の建設
  - ふきあげ図書館の建設
  - 伊集院ドーム・サッカー場の建設

## 特別会計・公営企業会計決算の概要

事業会計名	決算額（歳出額）
国民健康保険事業	55億5,417万円
老人保健医療	87億3,804万円
特別養護老人ホーム事業	2億9,369万円
公共下水道事業	5億2,260万円
農業集落排水事業	4,156万円
国民宿舎事業	2億5,139万円
国民保養センター及び老人休養ホーム事業	1億3,029万円
温泉給湯事業	379万円
公衆浴場事業	817万円
飲料水供給施設	63万円
住宅新築資金等貸付事業	1,076万円
簡易水道事業	2億9,132万円
介護保険	23億8,360万円
国民健康保険病院事業	3億3,676万円
水道事業	4億4,056万円

## 決算に対する討論

- 【賛成】**
- ◆ ふきあげ図書館の完成など、市民に身近な社会資本の整備や、福祉や少子高齢化に対応した施設の充実など評価できる。
  - ◆ 予算編成時に審議すべきだったことを、決算認定時に否定することは、決算認定の討論に当たらない。
  - ◆ 政務調査費は条例・施行規定を定めており、17年度はその範囲内で運用している。
- 【反対】**
- ◆ 政務調査費・食料費・旅費の用途について、適正さに欠く点があるのでは。
  - ◆ 公共用地および財産管理がおろそかになっているのではないか。
  - ◆ 東市来文化交流センター建設の事業執行に疑問を感じる。
  - ◆ 行政コスト削減の努力が見られない。
  - ◆ 生活環境の整備に配慮が足りない。



# 平成17年度

1カ月の支出365,900円まかなうのに、月収が98,906円じゃ全然足りないわ。

親から175,666円仕送りしてもらっても、まだ不足するので、貯金から28,254円引き出し、さらに63,074円はローンに頼らざるを得ないわね。

衣・食・光熱水費や家族の医療費、ローンの返済といった、なかなか切り詰められない支出の割合が多いので、やりくりがとても大変なのよ。



## 日置市の借金と預金の状況（平成17年度一般会計決算）

【借金】 地方債残高 355億760万8千円  
（市民1人あたり 67万1490円）

【預金】 基金残高 29億7636万6千円  
（市民1人あたり 5万6290円）

取り崩しが可能な基金（財政調整基金・減債基金）で計算。

## 一般会計決算をサラリーマンの平均家計36万5900円※の家計簿に例えると…

収入の内訳【円】		支出の内訳【円】			
給料 【市税・使用料・手数料など】	98,906	食費・衣服費 【民生費】	66,253	家・車のローン返済 【公債費】	53,987
実家からの仕送り 【地方交付税・国庫支出金など】	175,666	光熱水費・通信費 【総務費】	32,539	災害・防災対策費 【消防費】	8,897
預金の引き出し 【繰入金】	28,254	家族の医療費 【衛生費】	32,665	教養・娯楽費 【商工費】	2,413
ローン 【市債】	63,074	家・車の修繕や家具・家電購入 【土木費・農林水産費】	75,554	貯金など 【その他・繰越金】	37,123
収入計	365,900	こどもの学費 【教育費】	56,469	支出計	365,900

※総務省統計局による家計調査（平成16年1月）より換算

### 決算審査から

#### 「質疑・意見の主なもの」

**問**▶自治会および団体が管理する防犯灯の電気料金の補助について、旧町間のバラつきがある。今後の見通しは。

**答**▶17年度は持ち寄り予算だったのでバラつきがあったが、18年度より全地域で補助することになった。防犯灯の設置も含め、今後市の設置基準を定めて統一していきたい。

**問**▶清藤工業団地は分譲価格が高いと聞くが、販売状況を含め、現状はどうか。

**答**▶これまで分譲だけだったが、1㎡あたり292円で賃貸できるようにした。ただし、最終的に購入してもらうことが条件である。月数件問い合わせがあるが、立地条件と課価格が折り合わない。

**問**▶17年度は税の滞納が増えているが、徴収方法の変更が原因か。

**答**▶特定は難しいが、社会情勢や納税意識の低下が主な原因ではないかと思う。今後は、市県民税を中心に総務事務所と連携を取り、差し押さえを実施したい。

**問**▶福祉事務所が設置され、県から生活保護業務が移譲されたが、新たな財源持ち出しがあったか。また、生活保護の現状は。

**答**▶合併前の補助は国が75%、県が25%だったが、合併後は福祉事務所が設置され、県の補助分が市の負担に変わった。17年度は9500万円増だが、交付税措置されている。18年3月末現在、市全体で228世帯、315人が保護を受けている。

**問**▶土木・建築は高額な工事だが、17年度中に土木建設課で管理のレベルアップ研修をしなかったのか。

**答**▶土木職員は県技術センターなどに定期的に研修に行っている。建築関係は電気・配管など専門的になるので、設計管理委託をしている。

**問**▶吹上地域でのソリダゴ・アスパラなど園芸施設栽培の17年度実績はどうか。

**答**▶アスパラは10人が、3・7ha栽培している。17年度は病害虫の関係で苦戦した。ソリダゴはJAが事業主体である。年間所得400万円を目指して事業を行っている。

**問**▶17年度の社会教育の施策と成果は。17年度の反省を踏まえ、今後どう進めるか。

**答**▶17年度は持ち寄りだったので、各地域でそれぞれ実施された。今後は自治会活動と公民館活動の違いのすき間を埋める必要がある。また、合併したので行事は一つにまとめるという考えと、逆に地域行事が廃れないように現状を残すほうがいいという考えがある。どちらにもメリットがあり難しいが、統一した考え方を基本に進めることが必要である。地域ですべき行事については、今後は支援するが地域にゆだねていきたい。

**問**▶平成17年度、日吉・吹上地域は簡易水道事業特別会計で行ってきたが、18年度からは地方公営企業として独立採算となる。それが水道料金値上げにつながる。負担が重くなるがどう考えているか。

**答**▶吹上地域は昭和56年に約40%値上げし、その当時は反発も多く、理解を頂くのに苦労した。しかし、合併後は他地域との整合性を図るために、水道審議会などで段階的に値上げをするよう協議している。地域住民に納得して頂けるよう努力したい。



12月1日の定例会本会議に妙円寺小学校6年生(児童113人、教諭3人)が傍聴をしました。子どもたちの傍聴の感想を掲載いたします。



子どもたちの感想から(抜粋)

◎ひとつの事で何回も何回もいろんな意見を出して、やっとで決めたりして日置市のことを決めているということが分かった。

◎議員さんで居眠りをしていた人がいたのです。

◎赤ん坊からお年寄りまで元気で、過ごしやすい日置市にしてみたいです。

◎税金をどう使う?とかでいろんな意見がありました。私は少し、税金のことが分かってよかったです。

◎議会は話すだけで楽だと思っただけ、たくさん話し合っていた。

◎税金はこれからもちゃんとした正しい使い方をしたいです。

◎国会みたいでした。カメラは何台もあって本格的でした。この時来なければこの様な議会が行われていることを知ってないと思います。いい体験ができたと思います。

◎私達もこれから日置市議会の人達みたいに話し合いを進めたりして日置市議会の人達を参考にして行きたいです。

◎賛成・反対の意見の討論がとても激しいことです。驚きました。

◎政治家が集まる国会のようでした。

◎見えにくいところは、カメラで見えませんでした。

☆他の小・中・高校のみなさん是非、傍聴にいらして下さい。社会科学・公民の勉強に生かして下さい。いつでもお待ちしております。お問い合わせは議会事務局まで。

### 市民の皆さん、是非、傍聴においでください!!

- だれでも自由に傍聴できます。
- 受付簿に住所・氏名を記入していただくだけです。
- 本庁4階までお越しください。

〈本庁・支所のテレビで本会議を中継します!〉

〔設置場所〕	〔問い合わせ〕
・本庁 1階 ロビー	議会事務局
・東市来支所 1階 ロビー	TEL 273-2111
・日吉支所 1階 出納分室前	
・吹上支所 1階 相談室	

## 編集後記

暖かい正月を迎え、2007年も新たな気持ちでスタートしました。

昨年は、いじめの問題を含め、社会全体が「人の命」を大事にしなければと思うような出来事や事件の多い年でした。

また、地方自治体においても夕張市が財政破たんするという出来事もありました。

これまでは全国どこに住んでも同じような住民負担と住民サービスの提供がされましたが、今は地域の経済力を背景に自治体ごとの財政状況で負担とサービスが大きく異なる事を目の当たりにしました。

日置市も今年5月1日には、合併3年目を迎えます。少子高齢化・財源不足・三位一体改革など、地方にとって厳しい現実があります。そういう状況ですが、日置市の自然と環境を活かし「合併して良かった。住んで良かった」といえるような地域づくり、まちづくりに議会も努力しているところです。30人の議員が協力し、今後とも行政チェック機能の役割を果たして参りたいと思います。

また、議会だより発行に関して編集委員8名は、市政の様子や動きを分かりやすく説明し、市民の興味を引くような紙面づくりに心がけて参ります。

### 広報編集委員会

- |      |        |
|------|--------|
| 委員長  | 池満 渉   |
| 副委員長 | 出水 賢太郎 |
| 委員   | 花木 千鶴  |
| 委員   | 梅 康博   |
| 委員   | 西園 典子  |
| 委員   | 門松 慶一  |
| 委員   | 下御領 昭博 |
| 委員   | 坂口 洋之  |